

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
357	357	介護予防・生活支援事業	01	01	一般会計
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	03	03	民生費
			02	02	老人福祉費
			01	01	老人福祉総務費
担当部課名	大山田支所 健康福祉課		細目	102	在宅老人援護事業
作成者氏名	川合 文秀	連絡先	細々目	06	介護予防・生活支援事業
		47-1151(内線220)			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	旧措置者及び介護保険法に規定する「要介護」「要支援」に該当しない高齢者	「要支援」又は「要介護」状態になることなく、機能の維持・向上を図り、住み慣れた地域で自立した生活が送れる。
本年度事業内容	介護保険対象外のデイサービス事業	
平成 16 年度 終了年度 平成 年度 根拠法令・要綱等 伊賀市生きがい活動支援通所事業実施要綱		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)		0.1	0.1
	人件費合計(A)	0	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	0	240	240
	委託料	0	240	240
	合計(A+B)	0	960	960
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	0	960	960
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
サービスの利用者数	人	0	5	5			
通所事業サービス費用	千円	0	240	240			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
通所サービスの利用者人数	利用者数	人	— 目標 ()	5	5
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

対象者は年々他の事業へ移行していくので、目標設定の検討

評価	必要性	4	執行方法等の変更。対象者の把握検討	総合評価 B
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	2		